

全自動タイプ

給湯暖房用熱源機 取扱説明書

	品名	型式名	BL品番	号数
全自動タイプ	GH-T1600ZWH3-1	GH-T1600ZW	XT2812ARSAW3Q	16号
	GH-T1600ZTH3-1	GH-T1600ZT	XT2812ARS4AW3Q	
	GH-T1600ZBH3-1	GH-T1600ZB	XT2812ARS8AW3Q	
	GH-T1600ZUH3-1	GH-T1600ZU	XT2812ARS9AW3Q	

このたびは給湯暖房用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
■機器本体の表示について(→P.2)をご覧ください。
この給湯暖房用熱源機には保証書が付いています。
内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ、大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

リモコンに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

もくじ	ページ
製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	3
各部の名称とはたらき	9
機器本体	9
機器の準備	10
工場出荷時の設定について	10
冬の凍結予防をするには	11
凍結予防装置による方法	11
給湯栓の水を流す方法	11
機器の水を抜く方法	12
不凍液による方法	14
再使用する時	14
凍結してしまったとき	15
点検のポイント・お手入れのしかた	16
点検のポイント(月1回程度)	16
お手入れのしかた(月1回程度)	16
定期点検のおすすめ(有料)	16
循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)	17
給水口フィルターの掃除	17
点検・お手入れ後の確認	17
故障かな?と思ったら	18
こんなときは故障ではありません	19
アラーム表示について	20
アフターサービスについて	21
仕様一覧	22

「利用の前に

長くお使いいただくために

便利です!

- ◆お風呂もシャワー・給湯も暖房も、これ1台でOK。
- ◆ふろ自動ボタンを押すだけの簡単操作でお風呂が沸かせます。

快適です!

- ◆お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。また、水位が下がったら、たし湯もします。いつも快適なお風呂です。



- ◆ふろ配管をきれいにします。この機器には、お風呂のお湯を排水したときに、自動的にふろ配管内の残り湯を流しだす機能があります。以下の条件がそろったときに浴槽のお湯(水)を排水するとふろ配管の残り湯を、きれいなお湯(リモコンの運転が「切」の場合は水)約6リットルで流して浴槽の循環口から排出します。

- 条件**
1. ふろ自動運転終了後、浴槽の残り湯が循環口より上にあった場合
 2. 排水中に給湯等を使用していない場合

※ふろ配管内の残り湯を流しだす際には、ポンプの回る音がしますが故障ではありません。

環境にもやさしい!

- ◆リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。
- ◆残り湯はポンプ運転で洗濯機へ。水の節約(省資源)になります。※浴槽の循環口の種類によっては利用できない場合があります。



水道ホース差込型
(TP-S150シリーズ)

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX)

参照ページを示しています。

■機器本体の表示について

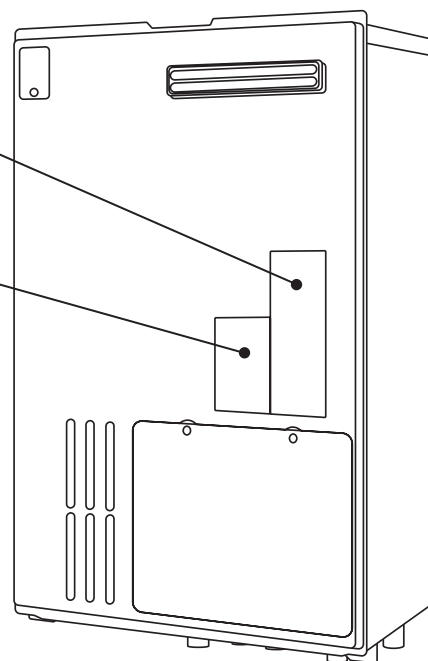
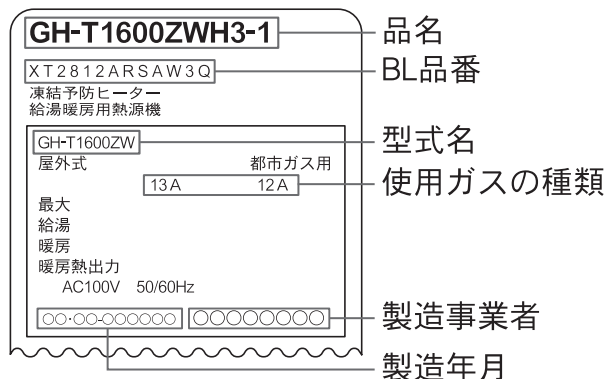
製品は、製品シリーズ・製品タイプ(全自動・自動)によって異なる機能があります。以下の方法で、製品の品名および製品タイプをご確認のうえ、この取扱説明書およびリモコン取扱説明書をご覧ください。

使用上の注意

- 使用上の注意について表示しています。

銘板

- 品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



(図はGH-T1600ZWH3-1を示します)

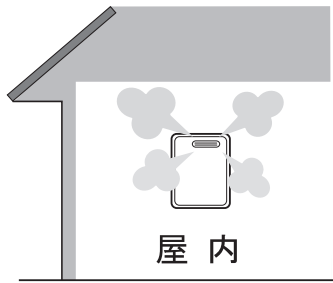


- 使用上の注意や銘板は製品により、貼り付けてある位置が異なる場合があります。

⚠ 危険

屋内に設置しない(この機器は屋外用です)

- 燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



ガス漏れに気づいたときは

- ① すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉じる。
- ② ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③ お買い上げの販売店または、最寄りのガス事業者に連絡する。



必ず行う

すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・ 火をつけない
 - ・ 電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・ 電源プラグの抜き差しをしない
 - ・ 周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



火気禁止



⚠ 警告

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、最寄りのガス会社・弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



必ず行う

給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

- 不完全燃焼や火災のおそれがあります。



禁止

改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因となります。



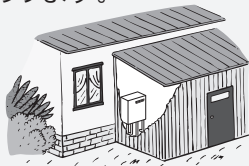
分解禁止

増改築などで屋内状態にしない

- 設置後、機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止



ガス接続について

- この機器のガス配管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には必ずお買い上げの販売店または、最寄りのガス会社・弊社窓口へご相談ください。



必ず行う

機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

このような場合は使用しない

- 増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気口を覆うことがあります。そのような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

お子様には十分な注意を

- 浴槽の湯(水)に潜ったり浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



禁止

アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



アースを必ず接続せよ

電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



禁止

必ずお守りください

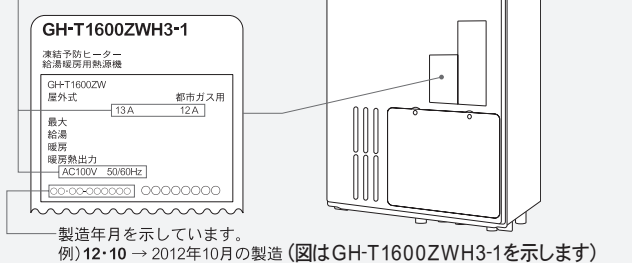
警告

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

●転居時の注意は(→P.21)

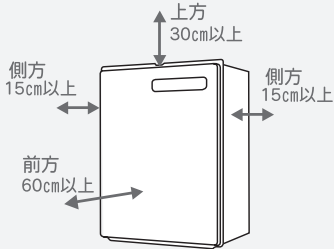
- この機器はAC100V 50/60Hz共用です。この部分を必ずご確認ください。



必ず行う

火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



必ず行う

- 機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など、燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止



禁止



禁止

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。



感電注意



ぬれ手禁止

異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。

- ①給湯栓を閉じる。
- ②**運転**ボタンを「切」にする。
- ③ガス栓・給水元栓を閉じる。



必ず行う

- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。



必ず行う

- ①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②「故障かな?と思ったら」(→P.18~20)に従って処置をする。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店または、最寄りのガス会社・弊社窓口へ連絡する。

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。



高温注意

- ・お湯を再使用するとき
- ・給水圧が下がったとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・機器が故障したとき



必ず行う

- 入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- 給湯・シャワー使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、**運転**ボタンを「切」にしない。
- お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。



禁止



高温注意

電源プラグのほこりなどは定期的に取り

- ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず行う

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



禁止

必ずお守りください

⚠ 注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、お風呂沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

ソーラー機器について

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。



禁止

水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客様の責任となります。



禁止

機器本体の高温部に触らない

- 使用中または使用後しばらくは、排気口付近を触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

空だき防止

- 追いだきボタンを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



必ず行う

電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



必ず行う

長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じる。



必ず行う

配管カバーについての注意

- 配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.17)



必ず行う

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。台所リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいらずにしないよう注意してください。

通水使用の禁止

- 運転ボタンを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くします。(冬期の凍結予防を除く)

断水するとき

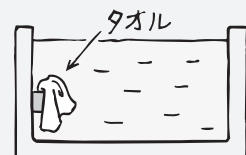
- 給湯栓を閉じ、リモコンの運転ボタンを「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給湯配管内にとどまることがあります。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。

入浴時の注意

- 循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良によりお風呂沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。



必ずお守りください

お願い

電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷等)以外は、電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに使用を中止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(→P.11)に従って処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結したときは■凍結してしまったとき(→P.15)に従って処置をしてください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 停電または電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの現在時刻の設定を行い、表示を確認してからご使用ください。
- 自動でお風呂を沸かしているときに停電になると、ふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、リモコン取扱説明書の■沸かし直しをするにはの操作を行ってください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.16)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店または、最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等でふき取ってください。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターや追いだき配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

長期間使用しないときは

- 機器の水を抜く方法(→P.12)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

必ずお守りください

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃烧音・燃烧ファン・ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者にご相談ください）
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃烧不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。（ただし、オーバーフロー配管は除きます）

ほこり

- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃烧ファンの性能を低下させ、不完全燃烧の原因となります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃烧の原因となります。

排気ガス

- 増改築時には、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。地下水・井戸水（簡易水道を含む）を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させるなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水（簡易水道を含む）を使用する場合は施工前に十分水質※を確認してください。ただし、地下水・井戸水（簡易水道を含む）には様々な成分が溶け込んでいる為、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理となります。
- ※飲料水適合していることを原則として、硬度60mg/ℓ以下・pH7～8・遊離炭酸4mg/ℓ以下が望ましい。
- 温泉水は使用しないでください。

必ずお守りください



警告

床暖房についての注意

やけどに注意

- 長時間、座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
 - ・疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
 - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方



禁止

火災予防

- 床暖房の上にスプレー缶・ライター等を置かない。爆発や火災のおそれがあります。



禁止

床についての注意

- 床暖房を設置している床面に、突起物(釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど)を落としたり刺したりしないでください。水漏れの原因になります。



禁止

注意

床についての注意

床に水などがこぼれたら速やかにふきとる

- 床面に水・薬品・しょう油などをこぼしたままにしておくと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、速やかにふき取ってください。



禁止

床へは衝撃を加えない

- 床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

床仕上材の上に敷物を敷かない

- 木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形・変色することがあります。



禁止

家具などを直接床に置かない

- 床暖房の上に、調度品・家具などを置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生するおそれがあります。



禁止

重いものはそのまま置かない

- ピアノなど重量物にはパットなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

ホットカーペットとの併用はしない

- 床仕上材が変形・変色するおそれがあります。



禁止

用途についての注意

- 床暖房を他の目的に使用しない。特殊な用途(例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など)には使わないでください。



禁止

床下防腐処理について

- 床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので注意してください。



禁止

カーペットの張替えについて

- 張替えする場合には床暖房専用のものを使用し、床暖房を破損しないように両面接着テープかグリッパーにて固定するようにしてください。釘あるいはびょうで固定するのは避けてください。また、交換を考えて、全面接着することは避けてください。



必ず行う

締め切ったお部屋で目がしみる場合は、窓を開放するなど換気を十分行う

- 断定はできませんが、接着剤等に含まれるホルムアルデヒド臭が原因のひとつに考えられます。ホルムアルデヒドの発散が少ないフローリング材・補強材や接着剤を使用しているか、施工業者にご確認ください。

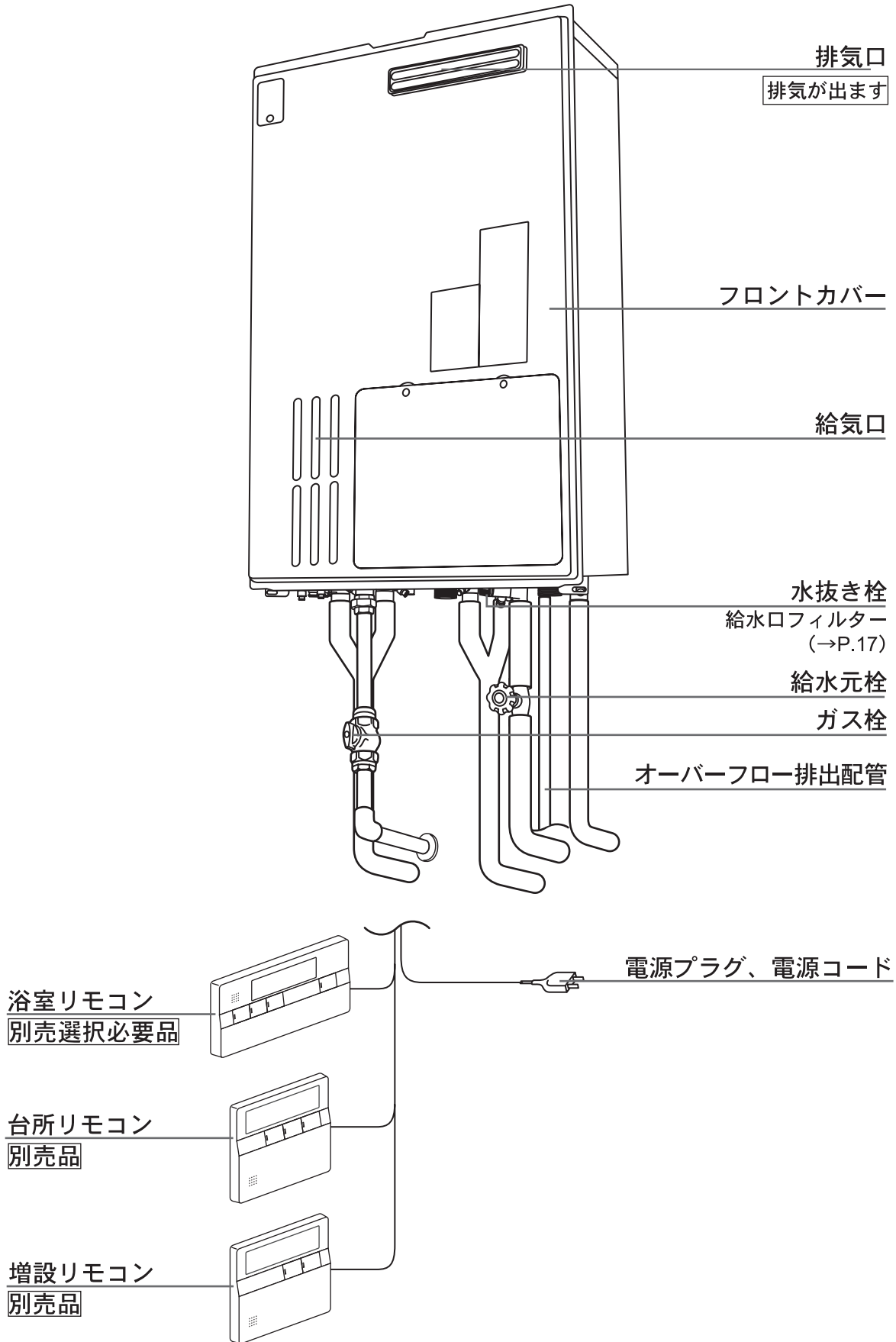


必ず行う

床暖房以外の暖房端末機器についての注意は、暖房端末機器の取扱説明書にあります。暖房端末機器の取扱説明書をよくお読みください。

各部の名称とはたらき

■機器本体 (図はGH-T1600ZWH3-1を示します)



■機器の準備

	操 作	説 明
1	機器や機器周辺の点検・確認を行います	■点検のポイント(→P.16)をご覧ください。
2	給水元栓を全開にします	機器の下部にあります。
3	給湯栓を開けます	水が出ることを確認したら、閉じます。
4	ガス栓を全開にします	機器の下部にあります。
5	電源プラグをコンセントに差し込みます	機器周辺にあります。

■工場出荷時の設定について

工場出荷時の設定は以下のようになります。表をご確認のうえ、機器をご利用ください。

タイプ	給湯温度	ふろ温度	ふろ水位	保温時間	ふろ待機設定
全自動	40℃	40℃	和バス設定 5(42cm)	4時間	ふろ優先

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。



注意

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき(外気温-15℃、有風5m/秒程度まで)


機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水(湯)を循環して、ふろ配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。電源プラグを抜いたり電源ブレーカーを切ると凍結予防装置がはたらきません。



- ◆凍結予防装置は、**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

浴槽の水(湯)は循環口上部より5cm以上高い位置にする

- ◆浴槽の水(湯)を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずに、そのままにしておいてください。また、浴槽の水(湯)を循環する凍結予防の動作中は、リモコンにを点滅表示します。

台所リモコン表示例



暖房回路の凍結予防のためにガス栓は開けておいてください

- ◆暖房回路は気温が下がってくると自動的に暖房運転(燃焼)し、暖房回路を温めて凍結予防をします。機器および端末機器の電源プラグを抜いたり電源ブレーカーを切らないでください。(端末機器の種類によっては凍結予防ができない場合があります)
- ◆暖房回路の凍結予防には、不凍液を使用する方法もあります。(→P.14)



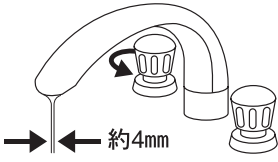
お願い

- お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、**運転**ボタンを「入」にしてください。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、**給湯栓の水を流す方法**または、**機器の水を抜く方法**で凍結予防をしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

	操 作	説 明
1	 運転 を「切」にする 	必ず行います。
2	浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます 	流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。 ※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は最高温度側にします。

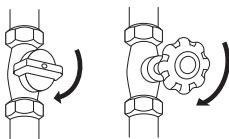


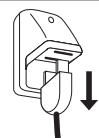


- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、**運転**ボタンを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.5)
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

冬期の凍結予防をするには

⚠注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

■機器の水を抜く方法 入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。

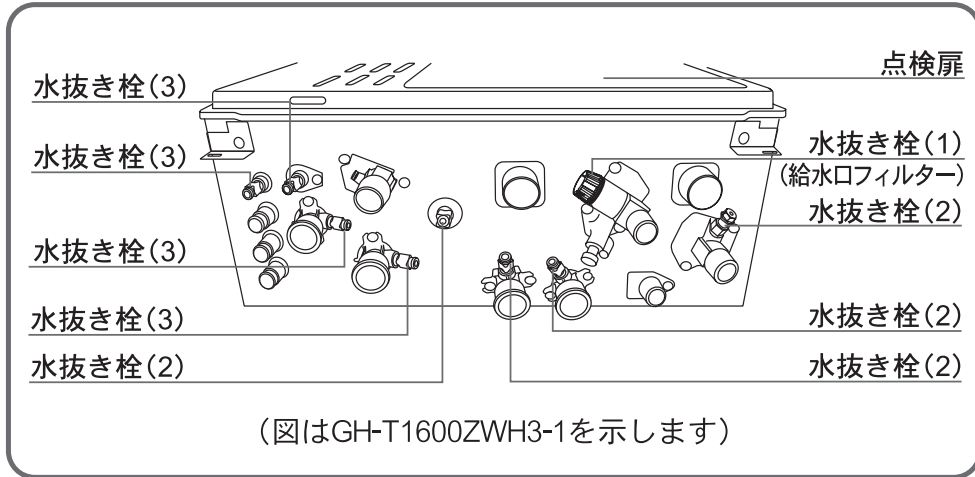
操 作		説 明
1	ガス栓と給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。
2	浴槽の水を完全に排水します 浴室リモコンの 運転 を「入」にし、 追いだき を5秒間押し続けます 	※浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。 🔊“おふろを沸かします”
3	すべての給湯栓を全開にします 	
4	水抜き栓(1)(2)を外します	※水抜き栓の位置は、□水抜き栓図(→P.13)をご覧ください。
5	暖房回路の水抜きを行わない場合は 7 8 の操作を行います	
6	暖房回路の水を抜く前に、不凍液注入の確認をします 【不凍液が入っている場合】 7 8 の操作を行います 【不凍液が入っていない場合】 水抜き栓(3)を外します	※不凍液注入の有無は、機器フロントカバー貼付のラベルで確認します。 ※水抜き栓の位置は、□水抜き栓図(→P.13)をご覧ください。
7	必ず電源プラグを抜きます 	機器の周辺にあります。 電源プラグを抜き忘れますと機器の故障の原因となります。
8	水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元どおりに取り付けてください	

⚠注意 ●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.17)

- お願い**
- 水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。再び使用するまでそのままにしておいてください。
 - 暖房回路の水抜きを行った場合は、再び使用するときに水張り作業が必要です。お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。
 - 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や端末機器内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

冬期の凍結予防をするには

□水抜き栓図



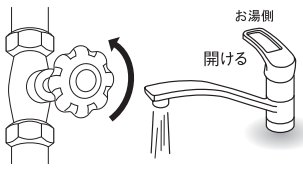
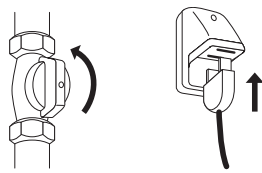

冬期の凍結予防をするには

■不凍液による方法

- 寒冷地では不凍液を使用してください。不凍液は経年劣化します。毎シーズン初めにお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にチェックを依頼して、3年に1度交換してください。
- 暖房システムの凍結予防のために指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は、不凍液の取扱説明書に記載されている方法で正しく使用してください。

■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。

	操 作	説 明
1	水抜き栓(1)～(3) およびすべての給湯栓が閉じていることを確認します	※水抜き栓の位置は、□水抜き栓図(→P.13)をご覧ください。
2	給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認します また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認します	給水元栓は機器の下部にあります。 
3	ガス栓を開け、電源プラグを差し込みます	ガス栓は機器の下部にあります。 電源プラグは機器の周辺にあります。 
4	リモコンの現在時刻を設定します	※リモコン取扱説明書をご覧ください。
5	ふろ自動運転を行います 浴槽に湯を張り水位などを確認します(再度水漏れがないか確認してください)	※循環口からお湯が出ることを確認してください。しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。 追いだき配管が凍結している場合、オーバーフローよりお湯が出ます。 

通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンにアラーム番号“173”“543”が出る場合

端末機器側の運転とリモコンの運転ボタンを一旦「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグの抜き差しをしてから再使用してください。

⚠️注意 ●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.17)


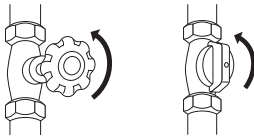

- 🙏お願い**
- 再使用するときは、水抜き栓を元どおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
 - 再使用の初回給湯使用時には、約90秒間機器への補水を行うため、この間はお湯が出ません。(点火しません)しばらくたってから、再出湯してください。

長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

操 作	説 明
1 ガス栓を閉じます 	機器の下部にあります。
2 給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。 ※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。
3  運転 入/切 を「切」にする 	
4 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます 	給水元栓は、機器の下部にあります。
5 給水元栓を全開にし、ガス栓を開けます 	機器の下部にあります。 必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。
6  運転 入/切 を「入」にする ふろ自動運転を行い、機器の水漏れや追いだき配管が凍結していないか確認します 	※循環口からお湯が出ることを確認してください。しばらく(1分程度)してもお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。 追いだき配管が凍結している場合、オーバーフローよりお湯が出ます。

⚠注意 ●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.17)

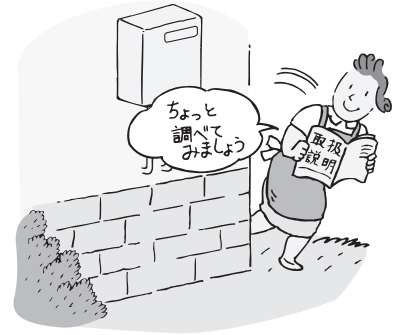
- 🙏お願い**
- 取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと、高額な修理費用(有料)がかかる場合があります。
 - 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。
 - 機器や配管が破損し、床や壁などをぬらして生じる損害はお客様の責任となります。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント(月1回程度)

次の7つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2. 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
3. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
4. 機器の外観に異常は見られませんか？
5. 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
6. 浴槽に循環口フィルターがついていますか？
7. 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口がふさがれていませんか？
給気口・排気口がふさがれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口をふさぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。



■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ(有料)

- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。
なお、給湯用具(逆流防止装置)に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。
点検はお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご相談ください。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



分解禁止

! ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどではふかないでください。
●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

長くお使いいただくために

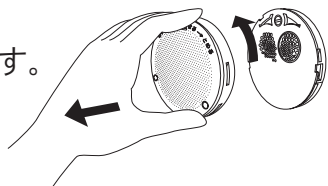
点検のポイント・お手入れのしかた

■循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

循環口フィルターの外し方

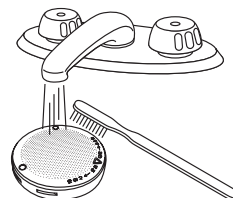
循環口フィルターを左に回して手前に引きます。



循環口フィルターを掃除する

歯ブラシなどで洗います。

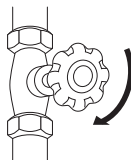
掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。



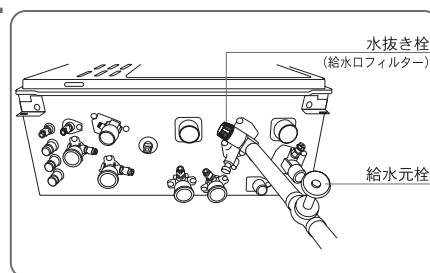
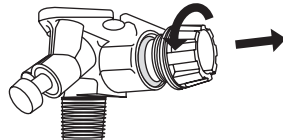
■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築の場合)

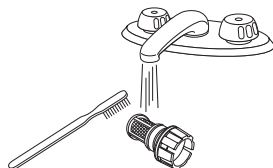
1 給水元栓を閉じる



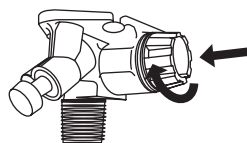
2 水抜き栓を外す



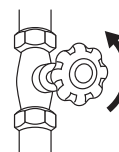
3 歯ブラシなどで洗う



4 元のように取り付ける



5 給水元栓を開ける



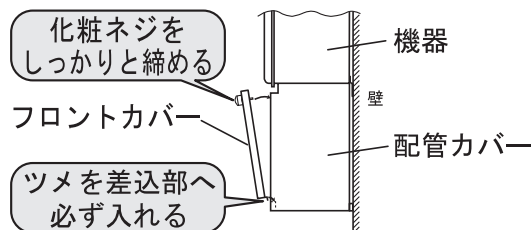
■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、**運転**ボタンを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

配管カバーのフロントカバーについて

配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元のおり取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジを確実に締める。



お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。循環口フィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元どおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
- 別売のユニットを取付けている場合、ユニットに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

こんなとき

ここを調べてください

リモコンの画面に
表示が出ない

省電力待機中ではありませんか
電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.10)
停電していませんか (→P.6)

アラーム番号「032」「217」「542」
が点滅し、動作しない

給水元栓が全開になっていますか (→P.10)
断水していませんか (→P.5)
おふろの排水栓はしっかりはまっていますか
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.17)

燃焼表示が点灯しない
お湯が出ない

ガス栓が全開になっていますか (→P.10)
給水元栓が全開になっていますか (→P.10)
断水していませんか (→P.5)
給湯栓が十分開いていますか
給水口フィルターが詰まっていますか (→P.17)
浴槽に水が入っていますか(追いだき運転時)
循環口フィルターが詰まっていますか(ふろ使用時) (→P.17)

高温のお湯が出ない
低温のお湯が出ない

給湯栓が十分開いていますか
温度調節は適切ですか
混合水栓やサーモキシングバルブを使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃にセットしてください

浴槽の水があつい(ぬるい)

ふろ温度のセットは適切ですか
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.17)

浴槽の水が少ない(多い)

ふろ水位のセットは適切ですか
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.17)

洗濯機に入る残り湯が極端に
少ない

洗濯機の入水口フィルターの掃除を行ってください

暖房がきかない(ききが悪い)

ガス栓が全開になっていますか (→P.10)
暖房端末機器の温度設定は適切ですか
床暖房は暖まるまでに時間がかかる場合があります

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

■こんなときは故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約2.5ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開けて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量に変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ふる自動」「追いだき」「ぬるく」「たし湯」「暖房」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたときお湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。すぐに湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらく燃焼ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
ふる自動ボタンを押した後お湯張りがときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯張りをするための動作です。
おふろを使用していないのに浴槽の循環口よりお湯(水)が出る	浴槽のお湯を排水したあと、ふる配管内の残り湯を流し出す機能がはたらくと、循環口からお湯(水)が出ます。
	お湯を使用すると機器内が温まり、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。
	凍結予防のためにポンプが回ったとき、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためおよそ15~30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」「ふる自動」「追いだき」「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
追いだき時間が長くなる	追いだき運転中に、給湯を使用したり暖房運転を行うと、追いだき能力が一時的に低下し、追いだきの時間が長くなる場合があります。
暖房ポンプがときどき自動的に回る	エア抜きをするためと、ポンプの固着を防止するための機能ですので故障ではありません。
床暖房の温度が低くなったり、浴室暖房乾燥機の温風温度が低下することがある	床暖房や浴室暖房乾燥機を使用しているときに給湯や追いだき運転を行うと、暖房能力が一時的に低下して床暖房の温度が低くなったり、浴室暖房乾燥機の温風温度が低下したりする場合があります。
床暖房を使用していないのに床が暖まることがある	暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1ヶ月ごとにポンプが自動的に回ります。このときに他の端末機器(浴室暖房等)を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。
冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。
時計表示が合っていない	停電や電源プラグをコンセントから抜いた等、通電が止まった後の再通電時は時刻表示が「--:--」になります。時刻の再設定をしてください。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

■アラーム表示について

機器に不具合が生じたとき、運転ランプの点滅とアラーム番号でお知らせします。アラーム番号が点滅表示したときは、不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店または、最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

アラーム番号	内 容	処 置 方 法	使 用 状 態	アラーム番号	内 容	処 置 方 法	使 用 状 態	
002	ガス供給なし浴槽残り湯有	—————	ふろ試運転	510	元ガス電磁弁故障	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房	
011	給湯60分以上連続使用	給湯栓を閉じてリセット	給湯	513	ガス電磁弁故障		ふろ自動・追いだき・暖房	
030	未対応ガス種選択	修理を依頼する	—————	542	二方弁関係異常		ふろ自動・ぬるく・たし湯	
032	注湯時間異常	浴槽の排水栓を確認後リセット	自動・追いだき	543	暖房回路漏水異常		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房	
100	自己診断警告	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房	562	注湯電磁弁異常		ふろ自動・ぬるく・たし湯	
111	給湯側点火不良	ガス栓確認後リセット	給湯・ふろ自動・たし湯	610	燃烧ファン回転異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房	
113	暖房・追いだき側点火不良		ふろ自動・追いだき・暖房	623	暖房ポンプ異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房	
121	給湯側失火		給湯・ふろ自動・たし湯	632	ふろポンプ異常		ふろ自動・たし湯・追いだき	
123	暖房・追いだき側失火	—————	ふろ自動・追いだき・暖房	650	高温分配弁異常		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房	
140	空だき安全装置作動	修理を依頼する	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房	651	水制御弁異常		—————	
170	熱交漏洩検知		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房	661	ミキシング弁異常		—————	
173	暖房回路漏水異常		—————	700	電装基板故障		—————	
252	ふろ水流SW異常		給湯・ふろ自動・追いだき・暖房	710	ガス比例弁駆動回路異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房	
300	外気温サーミスタ断線		ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき	711	ガス電磁弁駆動回路故障		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房	
311	出湯温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房	717	給湯ガス電磁弁駆動回路故障		—————	
312	ふろサーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房	720	ブリ・ポスト異常		給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房	
313	高温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房	740	台所リモコン通信異常		—————	
321	入水温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房	750	浴室・増設リモコン通信異常		—————	
331	混合温サーミスタ断線		給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房	760	電力測定ユニット通信異常		—————	
343	タンク出サーミスタ断線	給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房	763	端末通信異常	暖房・各端末との通信			
390	自己診断フレームロッド断線	給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房	888	機器点検	点検を依頼する			
422	注湯量センサー異常	—————	給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯	900	機器燃烧異常		修理を依頼する	
432	水位センサー異常	—————	ふろ自動	903	給気汚染異常			給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房
433	暖房水位検出異常	—————	給湯・ふろ自動・ぬるく・たし湯・追いだき・暖房	990	自己診断燃烧異常			給湯・ふろ自動・たし湯・追いだき・暖房

リセット操作



を一度「切」にし、5秒以上経過してから、



を「入」にする。

【浴室リモコン】

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足の番号が点滅することがあります。

ご連絡の際は、アラーム番号と併せてお知らせください。



【台所リモコン】

簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



- アラーム番号“100”が表示されたときは、燃烧状態を自己診断し、良好な燃烧を維持できない場合にお知らせする警告表示です。“100”の警告表示が点滅しているときに機器を使用することはできませんが、機器の燃烧が悪化している状態でそのまま使用し続けると、最終的に安全装置がはたらいで“990”のアラームとなり機器の使用ができなくなりますので、アラーム番号“100”が点滅したときは、修理を依頼してください。
- アラーム番号“111”・“121”が表示されたときは、給湯栓を閉じることにより、アラームが解除される場合があります。

長くお使いいただくために

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.18~20)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1)お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2)品名・ガスの種類
機器の銘板をご覧ください。(→P.2)
 - (3)現象
故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく。
 - (4)訪問ご希望日

保証について

- この給湯暖房用熱源機には保証書が付いています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。

BL 認定品について

- BL 認定品には、機器の前面にBL マークの表示があります。
- BL 認定品は、「瑕疵保証」と「損害賠償」のBL 保険付きです。

※BL 認定品についてのお問い合わせは一般財団法人ベターリビング TEL:03-5211-0680(お客様相談室)までご連絡ください。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P.12)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目	内容			
品名	GH-T1600ZWH3-1	GH-T1600ZTH3-1	GH-T1600ZBH3-1	GH-T1600ZUH3-1
型式名	GH-T1600ZW	GH-T1600ZT	GH-T1600ZB	GH-T1600ZU
外形寸法(mm)	幅480×奥行200×高さ750			
質量(kg)	32			
種類	給湯方式	先止め式		
	暖房方式	温水循環方式		
	給排気方式	屋外強制排気方式		
設置方式	屋外壁掛設置形・PS標準設置形	PS扉内設置形(前方排気延長)	PS扉内設置形(後方排気延長)	PS扉内設置形(上方排気延長)
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)			
水圧	使用水圧	80～750kPa(0.8～7.5kgf/cm ²)		
	最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)		
最低作動水量	給湯	3.5ℓ/分		
	暖房	0ℓ/分以上(締切り使用可)		
	ふろ	3.8ℓ/分		
接続	ガス	20A(R3/4オネジ)		
	給水・給湯	15A(R1/2オネジ)		
接続	暖房	低温往き	CHMジョイント(3P)	
		高温往き	CCHM(QF16)ジョイント	
	ふろ	戻り	CCHM(QF16)ジョイント	
		ろ	CCHM(QF16)ジョイント	
オーバーフロー	15A(R1/2オネジ)			
電源	本体電源 AC100V(50/60HZ)			
リモコン側	DC24V以下			
電気関係	待機時	1.5W(浴室・台所リモコン取付時)		
	消費電力	同時使用	260W	270W
		凍結予防作動時	270W	290W
リモコンコード	浴室リモコン2心、台所リモコン2心			
安全装置	ファン回転検出装置(燃焼ファン) 立消え安全装置(フレームロッド) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき安全装置(バイメタル式) 空だき防止装置(水量センサ・水流スイッチ・水位電極) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電リレー) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ、ポンプ運転) 過電流安全装置(電流ヒューズ) 沸騰防止装置(出湯温サーミスタ)			

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			出湯能力(最大)ℓ/分		能力kW{kcal/h}		ガス 接続	
	給湯・暖房 同時使用	給湯(最大)	暖房	水温+ 25℃上昇	水温+ 40℃上昇	追いだき	暖房		
都市 ガス	13A	45.3{39,000}	33.7{29,000}	16.7{14,400}	16.0	10.0	9.3{8,000}	14.0{12,000}	20A (R3/4)
	12A	42.2{36,300}	31.4{27,000}	15.6{13,400}	14.9	9.3	8.6{7,400}	13.0{11,200}	

◎ガス: JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa{2kgf/cm²}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために

販売店名